

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 28年 10月 10日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103581
法人名	医療法人 裕智会
事業所名	グループホーム アルプス
所在地	鹿児島県鹿児島市高麗町42番12号 (電話) 099-286-1230
自己評価作成日	平成 28年 8月 6日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年9月14日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームアルプスは、平成16年開設して今年13年目を迎えました。基本的人権の尊重を元に、いつまでも元気で楽しく安心してグループホームでの生活を長く続けられるように入居者の方々、そのご家族、職員が一丸となって取り組んでいます。母体である医療機関の呼吸器科医、糖尿病科医、認知症サポート医による医療、リハビリ室の理学療法士によるリハビリ受診を送迎サービスで行っています。また、地域の方々や法人の協力を得ながら、地域の方との交流、2ヶ月に1度の専門講師を招く音楽療法、理事長(整形外科医)によるリハビリ体操、ボランティアの方による太極拳・アコーディオン演奏に参加することで、精神、身体機能の維持を図っています。認知症カフェを開催し、地域の方の寄り合いの場や認知症介護の相談を実施しています。認知症介護を行う地域密着型事業所として地域に根ざしながら、ご利用者様やご家族様が笑顔で過ごせるように努めています。内部研修の当日、夜勤や都合が悪く受講できなかった方には、DVDを作成し、後日研修をうけ、全員が受講出来る様にしています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○鹿児島市の市街地に建てられているホームで、近隣には法人のクリニック、居宅介護支援事業所、通所リハビリテーション等もあり、連携が十分に図られ、重度化や終末期の対応体制の充実も含めて利用者や家族にとって大きな安心に結びついている。利用者の思いや意見とともに、ご家族の要望等も来訪時や家族会等で話しやすい雰囲気作りに努め、きめ細かく把握できるように努めている。  
○法人の秋祭りやホームの餅つきには家族や地域の方々に参加して頂くと共に、ボランティアや中高生の職場体験学習の受入れも多く、自治会に参加して地域の祭り・校区の運動会・文化祭等へ参加している。また、法人合同開催の「認知症カフェ」には、ご家族や地域の方々に気軽に来訪して頂き、時には講師役もお願いしながら介護に関する意見や情報交換も行われている。  
○管理者は朝夕の申し送り時の対話の他に、月1回の職員会議での意見交換を通じて職員の意見や提案を聞き取っている。また、「職員アンケート」を活用して意見提案できる仕組みづくりがなされ、解決策は関係者で十分に協議して業務改善やサービス向上につなげている。職員間の連携も良好で、ご家族や入居者への接し方についても話し合うなど、日々の関わりの中で職員とご家族や入居者がともに関係を築き合うことを大切にしている。  
○法人の研修も非常に積極的に実施されており、ホーム内でも管理者自らが研修に参加できなかった職員向けにDVDを作成して周知を図り、熱心に職員の育成に取り組んでより良いケアの実現に一体となって取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所の理念は施設内のわかりやすい場所に掲示し理解と意識を図っている。「その方がその人らしく香り高く生きるため寄り添う。」という理念を大切に日々のケアを通じてスタッフと理念の共有認識に努めている。	法人並びにホームの理念に沿って、家族や利用者が日々元気で安全に、そして安心してその人らしく暮らせるように支援に取り組んでいる。理念は掲示して、日々の申し送りやミーティング、また、職員会議等で理念の意義の理解を深めるように努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事に参加したり、グループホームの行事に参加して頂き交流している。地域の方々のボランティア受け入れも行っている。散歩や外出時にも地域の方への挨拶なども積極的に行っている。	自治会に加入し、案内される祭りや校区の運動会・文化祭をはじめとした地域の行事に参加のほか、日常的には散歩や買い物の際に地域の方々と挨拶や話を交わして積極的に交流している。ホームで開催の認知症カフェは地域の方々と話し合いの場となり、法人の秋祭りにも多くの参加を得ている。また、中高校生の職場体験学習やボランティアの受け入れも行っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職員は近くに住む一人暮らしの方に声掛けし、話し相手をしたり、民生委員・居宅支援事業所・長寿あんしん相談センターと連携をとり見守っている。認知症カフェ開催により、介護の相談にのっている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、入居者の方々の状態、行事報告を行っている。ご家族・地域住民・長寿あんしん相談センターの参加により外部から見た客観的な意見を集め改善に努めている。	会議は利用者や家族、自治会長・地域住民・地域包括センターの職員等関係者が参加して定期的開催されている。ホームの現況報告や行事・問題点・外部評価の結果報告等について活発な意見交換が行われ、それによる提案や意見が具体的にサービスの質向上に活かされている。今後は警察や消防署職員に参加を呼びかけることも計画している。		

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市の担当課・担当者へ不明点や相談等電話や面談にて連絡を取っている。事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝え、認知症の方が地域の中で安心して生活できる環境を整えるため取り組んでいる。</p>	<p>介護相談員の受け入れを行い、市担当窓口や包括支援センターなどへの事務手続きやその他の機会に、訪問や電話で問題や事故、認定手続きなどの情報交換を行うなど、協働してサービスの質の向上に取り組んでいる。また、市から案内される研修会等にも積極的に参加して連携を深めている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>外部研修や内部研修に参加し拘束につながる行為の理解を深め利用者の意思に寄り添ったケアが行えるように努力している。昼間の玄関は、施錠せず職員の見守りで対応している。</p>	<p>玄関や居室に鍵をかけない自由な暮らしの支援を、職員の見守り方法を工夫する努力で実現している。言葉をさえぎることや気持ちの押さえつけ・行動制限の防止には、日々のケアの中や法人の職員研修会、ホームの勉強会で繰り返し確認・協議して理解を深め、安全確保やその人らしい暮らしを支援するケアへの反映が図られている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部から講師を呼び、内部研修にて学びあい身体的、精神的虐待がないように日々のケアに努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>内部研修において外部より人権擁護委員を招き講演を依頼している。後見人制度を利用している方もいるので、権利擁護について話しあっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時や解約時には十分に説明できる時間をもち、理解してもらうようにしている。書面を利用し、不安や疑問点を尋ね、納得してもらっているかを確認しながら行なっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年2回の家族会や面会ノート、カンファレンスや運営推進会議等を利用し意見・要望を聞いている。面会時は、日頃の様子を出来るだけ伝えるようにしている。意見箱を設置し運営に反映出来る様に努めている。	利用者には、日常頻繁に声掛けして思いや意見を聞きだす努力をしている。ご家族とは来所時や家族会、カンファレンス、運営推進会議等の際に、話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見を頂いている。面会ノートや意見箱、介護相談員の意見なども活用して、申し送りやミーティング、職員会議等を通じて全職員が共有を図り、サービスに具体的に反映できるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	事業所の運営や大きな決定については会議にて話し合いをおこなっている。日々のコミュニケーションのなかでも職員の疑問や意見、提案があれば話してもらえるような関係作りに努めている。	職員からの意見は日々の申し送りや毎月の職員会議で聞き取ると共に、夜勤明けの職員をはじめとした日常の対話で意見や提案・疑問等を把握できるように努めている。得られた意見や提案は、管理者や代表者が検討し、やりがいの持てる職場環境づくりや職員のレベルアップ、また、提供するサービス内容の見直しや改善につなげている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個々の努力や実績、勤務状況を把握するように努めている。適材適所で役割分担を行い、やりがいの持てる環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>就業年数や職員のケアの様子などで院内・院外の研修内容とてらしあわせて、多くの職員が参加出来るようにし、スキルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加入し、勉強会に参加し、交流する事で意見交換を行いサービスの質の向上に繋がるように取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族や利用していた施設・病院からの情報や日々の生活の中で表情、言葉遣いや態度を感じ取り穏やかな表情や笑顔、言葉遣いを心がけご本人が安心する環境作りに努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>見学時においての相談も含めて丁寧に説明や報告を行い不安な事やご家族の要望など意見を伺いやすい雰囲気作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前の情報シートを確認し、ご本人やご家族との面談でアセスメントを行い、その後の必要な事の提案をしながらサービス内容の具体化をしている。サービス導入前の関係機関からの意見も取り入れている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日々の生活の中で食事の準備、片付け、掃除、洗濯物をたたむ、季節の壁飾りの作成等を一緒に行い、ご本人が得意とする事を職員に教えて頂くことで支え合う関係が築かれている。</p>		

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会やご家族との外出、外泊への支援を積極的に行っている。大きな行事にはご家族へも参加の声掛けを行っている。日々の様子や体調管理を電話や手紙、面会時に伝える事で情報の共有を図っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	来所者の受け入れや電話・手紙のやりとりなどの支援を行い、これまで大切にしてきた友人や知人との関係が途切れないようにしている。行きつけの歯科や寺院、理・美容院の利用も支援している。	利用開始までの生活習慣を大切にして支援に活用している。利用者の知人・友人などの来所時にはゆったりと過ごせるように支援することをはじめ、電話や手紙の取次ぎ、ご家族の協力を得ながら本人が希望する馴染みの美容院や買い物・寺院参り・専門医受診・外出・外泊等を可能な限り支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う入居者の方同士を見極め、席を近くにして楽しく過ごせる場面作りをするなど、お互いが支え合い関係が上手くいくように職員は調整役となり支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、相談を必要される場合や事業所が役に立てる事があれば、積極的に関わりを持つように努め、これまでの関係性を大切にしている。入院時は、お見舞いを欠かさず行っている。		

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活暦を含めて、現場スタッフの意見を様々な視点から捉え、ご本人の立場に立って考えるように努め、ご家族、ご本人の希望や意向を把握するようにしている。	利用開始時の利用者本人や家族からの聞き取り情報や、入浴時や夜間の対話など日々の暮らしを通して利用者の思いや意向を可能な限り把握するように努めている。申し送りや会議で共有を図り、ご家族とも必要な対応を検討して利用者の希望や思いにそった支援となるように取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの情報や入居時のご本人の様子等細かく情報をまとめて職員間で共有し把握するように努めている。また、新たに知りえる生活暦や経過もあり、その上でも大切にしてきた関係が維持出来る様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活から、過ごし方や身体の状態を観察し、職員同士で話し合いを行い、現状を総合的に把握出来る様に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現場職員との会議にて日々の気づきや様々な意見を出し合いながら、現状に即した介護計画を作成するように努めている。ご家族との話し合いや、主治医から医療面での注意事項を聞きご本人の状態や変化に応じて見直しを行っている。	本人や家族の意向や希望、医師の意見を含む関係者からの情報を基に、職員全員で十分な意見交換を行い、職員の意見やアイデアも反映したきめ細かなわかりやすい介護計画を作成している。ケアの経過は健康記録やサービス実施記録に詳しく残し、3ヶ月毎に経過を評価して、状態の変化に対応した話し合いを基にして計画を適切に見直し修正している。	

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の記録を昼間、夜間で色分けして記入し、日々の気づきやケア時の表情等を記載し情報を共有して行く中で実践や介護計画の見直しに生かすように努めている。</p>			
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>認知症対応型通所介護の利用者の方々と音楽療法や行事で馴染みの関係を作り、その方が自宅での生活が困難になった時は、なじみの職員がいるグループホームへの住み替えが出来る様に取り組んでいる。</p>			
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議に町内会長や長寿あんしん相談センターの方々に入って頂き、様々な情報の交換を行っている。また、行事の際にはボランティアの協力も頂いている。</p>			
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本院での定期受診、特変時の受診、ご家族が付き添われる専門医への他科等、ご本人ご家族の希望を大切にしながら適切な受診支援を行っている。</p>	<p>利用前の受診経過は十分に把握され、母体病院または本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を、ご家族の協力や職員同行で支援している。利用者それぞれのかかりつけ医との話し合いや情報交換も十分になされ、家族との連携も図られている。専門医受診についてはご家族にお願いしている。また、母体病院の看護師による健康チェックも週1回以上行われている。</p>		

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携担当看護師が24時間オンコールで相談できる体制にあり、週1回以上の健康チェックのため訪問する事で介護職員の記録を確認し連携を取り、適切な受診や看護を受けられるように努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院と連絡を密に取り、ご家族の希望を聞き医療機関と情報交換をしながら支援を行っている。入院時はお見舞いに伺っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の際に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明している。重度化する可能性が生じた場合、早い段階でその時々でのご家族の意向を確認し、医師や看護師、職員と話し合いながら、意向に沿えるようチームケアを大切にしながら取り組んでいる。</p>	<p>入居時に「看取りに関する指針」により方針を説明し、同意を得ている。利用者の段階に応じて、職員やかかりつけ医、ご家族と十分な話し合いを行い、意向に沿った適切な支援が提供できるようにチームケアに取り組んでいる。本人やご家族が看取りを希望された時は適切に対応できるよう職員に対する勉強会も実施している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>日本赤十字社や消防署の協力で心肺蘇生術や応急手当の研修を実施しスムーズに医療に繋がれるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力と指導で避難訓練を行っていて、消火器の使い方や避難経路の確認などの訓練を定期的に行っている。</p>	<p>年2回消防署や地域住民の協力を得ながら消火訓練及び通報訓練、避難経路の確保にも配慮した避難訓練を行っている。また、年2回は自主的な避難訓練や救命講習等の研修も行っている。スプリンクラーや自動通報装置等の設置並びに点検、食料・水等の備蓄も問題なく、関連する近隣施設との連携も十分に図られている。</p>	

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の尊厳と権利を守り、個々の性格や思いに配慮しながら、言葉かけや対応に留意して、職員同士で気付いた時はお互い注意し合うようにしている。法人内で勉強会を行い、職員の資質向上に取り組んでいる。	利用者の尊厳と権利を守るため、誇りやプライバシー確保に配慮した声掛けや対応を心掛けている。接遇や人権保護及び個人情報保護に関する研修も計画に沿って実施されて職員のレベルアップも図り、各種の個人記録や居室も適切に保護されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの好みに合わせ自己決定場面を作り会話の中でさりげなく支援するように努めている。ご本人の意向に沿った支援となるよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の体調に配慮しながら、その日、その時の気持ちを尊重して、出来るだけの個性の支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人のその人らしい服やこれまでのこだわりや希望などご家族の協力を得ながらその人らしく暮らせるように支援している。年2回買い物リハビリを行い、必要なものを安心して買い求めるよう支援している		

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方のできる所を活かしながら、ご利用者と職員と一緒に食事や片付けを行うようにしている。食事は職員も一緒に食べ、会話しながらご利用者の味付けなども希望に添う様努力している。	菜園の野菜も活用しながら日常会話で把握した利用者の好みを献立や味付けに反映させ、食卓の準備・後片づけ等を利用者と共に行い、食事を楽しみながら行う雰囲気作りに努めている。季節の行事食のほか、クリスマスや誕生会等の特別メニューや外食、あくまき作りや梅干し・ラッキョウ漬け、餅つきなど、利用者の楽しみにつながる多くの工夫も行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量の把握と、一人ひとりに合わせた水分補給を行っている。毎月、体重測定を行い主治医へ報告し指示を受けている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、声掛けを行い入居者の方の状態支援をおこなっている。義歯消毒は就寝前に行っている。希望に応じて、訪問歯科受診の手配を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し気持ち良くトイレで排泄出来る様に案内している。意思表示が難しい方でも表情や行動から声掛けや案内を行っている。	排泄チェック表の活用で利用者個々のパターンの把握に努めている。その上で職員は連携して、個人の習慣や身体機能に応じて声かけや誘導にも配慮しながら、気持ちよくトイレで排泄できるように支援している。一連の工夫はケアプランにも組み込まれている。	

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の体操や朝食にヨーグルトや牛乳、植物繊維の多い食材を提供している。また、散歩を取り入れて体を動かしたり、排泄時に腹部マッサージを行ったり、しっかり水分摂取を案内することで解消や予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を基本としている。ご本人の希望も伺いながら、体調や様子、表情等から、ご本人のタイミングに合わせて入浴の案内を行っている。個浴にて対応している。	本人の好みや習慣の把握に努め、体調や安全にも配慮しながら、基本的には週3回の入浴を支援している。皮膚等の観察のほか、ゆっくりと対話するようにしてゆったり入って頂いている。入浴を拒否される場合には、時間帯の変更や繰り返し声かけも工夫して気分転換を図るようにしている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、体操、散歩、リハビリ等出来るだけ活動して頂き、午後よりは就寝に向け精神的に安定するように穏やかに過ごして頂く様、一人ひとりの状況や希望に沿って支援している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を作成し、服薬内容について把握している。変更になった場合はその都度申し送りにて周知と把握に努め情報共有している。薬剤に関し疑問点があれば薬剤師へ質問し理解に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の方の生活歴や趣味を把握し調理・洗濯物たたみ・裁縫・ゴミ箱作りなど一緒に行っている。また、ディ・サービスと合同で音楽療法やアコーディオン演奏に参加し、歌や踊りをするなどの楽しみ事の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日々の散歩や外気浴をできるだけ取り入れるようにしている。買い物や近所の公園に弁当持参での花見、外食を行っている。事業所内で店を開き「買い物レクリエーション」を行っている。	利用者の健康状態や天候を見ながら、本人の希望に沿って散歩や外気浴、菜園の手入れ、買い物などに出かけている。年に数回は、地域の運動会や文化祭等の行事への参加、近隣の公園への弁当持参の花見、ご家族の協力も得ながら利用者の希望に添って寺院参りや墓参り、美容院、外食等も支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理できる方やお金があるという安心感の為にご家族の協力のもと、ご自分でお金を所持されている方もおられる。それぞれの方の状況に応じて対応している。可能な場合は利用者と一緒に買い物の支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご家族より電話があった際は取り次ぎ、ゆっくり話して頂くよう支援している。また、ご本人からご家族への電話の依頼があった場合対応している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間は、窓から外の木々や花壇が眺める事ができ、明るさや温度、湿度、換気に配慮し、ソファで日向ぼっこが出来る様に配置を工夫している。壁には利用者が作成した季節の飾りつけをして居心地良く過ごせるようにしている。	リビングは明るく清潔さや空調にも配慮され、季節の花が置かれ、周囲の壁には季節感のある手作りの作品などが飾られ、静かにゆったりと過ごせるように工夫されている。窓からは樹木や花壇も眺められ、ソファでは日光浴も楽しむことができ静かに気持ち良くくつろげる。日常的には様々なレクリエーションを工夫し、年2回は関連施設に店を設けてリハビリを兼ねた「買い物レクリエーション」を楽しんで頂いている。	

自己評価	外部評価	項目 2階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食事・お茶を摂る際は、席を決めている。テレビやソファを設置し楽しく過ごす空間を作り、職員も中に入り会話を取り持っている。</p>	/	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や時計、観葉植物、写真など持ち込んでいただくことで、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>居室は全室フローリングであり、エアコン・ベッド・タンスが設置されている。部屋に置かれているテレビ・椅子・写真・ぬいぐるみなどは、本人やご家族の希望のものを自由に持ち込んでもらい、自分の部屋として本人が落ち着いて過ごせる環境となるように支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者一人ひとりの身体能力に合わせ、居室にネームプレートを付けたり、歩行不安定な方には安全に歩けるように家具の配置を工夫して導線を作ったりし安全に移動が出来る様に努めている。</p>	/	

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所の理念は施設内のわかりやすい場所に掲示し理解と意識を図っている。「その方がその人らしく香り高く生きるため寄り添う。」と言う理念を大切に日々のケアを通じてスタッフと理念の共有認識に努めている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会の行事に参加したり、グループホームの行事に参加して頂き交流している。地域の方々のボランティア受け入れも行っている。散歩や外出時にも地域の方への挨拶なども積極的に行っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	職員は近くに住む一人暮らしの方に声掛けし、話し相手をしたり、民生委員・居宅支援事業所・長寿あんしん相談センターと連携をとり見守っている。認知症カフェ開催により、介護の相談にのっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、入居者の方々の状態、行事報告を行っている。ご家族・地域住民・長寿あんしん相談センターの参加により外部から見た客観的な意見を集め改善に努めている。		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の担当課・担当者へ不明点や相談等電話や面談にて連絡を取っている。事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝え、認知症の方が地域の中で安心して生活できる環境を整えるため取り組んでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	外部研修や内部研修に参加し拘束につながる行為の理解を深め利用者の意思に寄り添ったケアが行えるように努力している。昼間の玄関は、施錠せず職員の見守りで対応している。		
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部から講師を呼び、内部研修にて学びあい身体的、精神的虐待がないように日々のケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内部研修において外部より人権擁護委員を招き講演を依頼している。後見人制度を利用している方もいるので、権利擁護について話しあっている。		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時や解約時には十分に説明できる時間を持ち、理解してもらうようにしている。書面を利用し、不安や疑問点を尋ね、納得してもらっているかを確認しながら行なっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年2回の家族会や面会ノート、カンファレンスや運営推進会議等を利用し意見・要望を聞いている。面会時は、日頃の様子を出来るだけ伝えるようにしている。意見箱を設置し運営に反映出来る様に努めている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	事業所の運営や大きな決定については会議にて話し合いをおこなっている。日々のコミュニケーションのなかでも職員の疑問や意見、提案があれば話してもらえるような関係作りに努めている。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	個々の努力や実績、勤務状況を把握するように努めている。適材適所で役割分担を行い、やりがいの持てる環境作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>就業年数や職員のケアの様子などで院内・院外の研修内容とてらしあわせて、多くの職員が参加出来るようにし、スキルアップに努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会に加入し、勉強会に参加し、交流する事で意見交換を行いサービスの質の向上に繋がるように取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族や利用していた施設・病院からの情報や日々の生活の中で表情、言葉遣いや態度を感じ取り穏やかな表情や笑顔、言葉遣いを心がけご本人が安心する環境作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時における相談も含めて丁寧に説明や報告を行い不安な事やご家族の要望など意見を伺いやすい雰囲気作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前の情報シートを確認し、ご本人やご家族との面談でアセスメントを行い、その後の必要な事の提案をしながらサービス内容の具体化をしている。サービス導入前の関係機関からの意見も取り入れている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で食事の準備、片付け、掃除、洗濯物をたたむ、季節の壁飾りの作成等と一緒にやり、ご本人が得意とする事を職員に教えて頂くことで支え合う関係が築かれている。		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会やご家族との外出、外泊への支援を積極的に行っている。大きな行事にはご家族へも参加の声掛けを行っている。日々の様子や体調管理を電話や手紙、面会時に伝える事で情報の共有を図っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでの生活習慣を大切に友人知人の関係を把握して、関係継続の支援をしている。ご家族からの外泊希望の連絡により、準備を行う等の支援を行っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う入居者の方同士を見極め、席を近くにして楽しく過ごせる場面作りをするなど、お互いが支え合い関係が上手くいくように職員は調整役となり支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、相談を必要される場合や事業所が役に立てる事があれば、積極的に関わりを持つように努め、これまでの関係性を大切にしている。入院時は、お見舞いを欠かさず行っている。		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活暦を含めて、現場スタッフの意見を様々な視点から捉え、ご本人の立場に立って考えるように努め、ご家族、ご本人の希望や意向を把握するようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの情報や入居時のご本人の様子等細かく情報をまとめて職員間で共有し把握するように努めている。また、新たに知りえる生活暦や経過もあり、その上でも大切にしてきた関係が維持出来る様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活から、過ごし方や身体の状態を観察し、職員同士で話し合いを行い、現状を総合的に把握出来る様に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の希望を確認し、主治医や理学療法士の意見を取り入れ、担当者会議で話し合い介護計画を作成している。3ヶ月毎に見直している。		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別の記録を昼間、夜間で色分けして記入し、日々の気づきやケア時の表情等を記載し情報を共有して行く中で実践や介護計画の見直しに生かすように努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>認知症対応型通所介護の利用者の方々と音楽療法や行事で馴染みの関係を作り、その方が自宅での生活が困難になった時は、なじみの職員がいるグループホームへの住み替えが出来る様に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議に町内会長や長寿あんしん相談センターの方々に入ってもらい、様々な情報の交換を行っている。また、行事の際にはボランティアの協力も頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本院での定期受診、特変時の受診、ご家族が付き添われる専門医への他科等、ご本人ご家族の希望を大切にしながら適切な受診支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携担当看護師が24時間オンコールで相談できる体制にあり、週1回以上の健康チェックのため訪問する事で介護職員の記録を確認し連携を取り、適切な受診や看護を受けられるように努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院と連絡を密に取り、ご家族の希望を聞き医療機関と情報交換をしながら支援を行っている。入院時はお見舞いに伺っている。退院時のカンファレンスにも参加し退院後の支援に役立っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明している。重度化する可能性が生じた場合、早い段階でその時々でのご家族の意向を確認し、医師や看護師、職員と話し合いながら、意向に沿えるようチームケアを大切にしながら取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日本赤十字社や消防署の協力で心肺蘇生術や応急手当の研修を実施しスムーズに医療に繋げられるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力と指導で避難訓練を行っていて、消火器の使い方や避難経路の確認などの訓練を定期的に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の尊厳と権利を守り、個々の性格や思いに配慮しながら、言葉かけや対応に留意して、職員同士で気付いた時はお互い注意し合うようにしている。法人内で勉強会を行い、職員の資質向上に取り組んでいる。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの好みに合わせ自己決定場面を作り会話の中でさりげなく支援するように努めている。ご本人の意向に沿った支援となるよう働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の体調に配慮しながら、その日、その時の気持ちを尊重して、出来るだけの個別性の支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご本人のその人らしい服やこれまでのこだわりや希望などご家族の協力を得ながらその人らしく暮らせるように支援している。年2回買い物リハビリを行い必要なものを安心して買い求めできるよう支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方のできる所を活かしながら、ご利用者と職員と一緒に食事や片付けを行うようにしている。食事は職員も一緒に食べ、会話しながらご利用者の味付けなども希望に添う様努力している。		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量の把握と、一人ひとりに合わせた水分補給を行っている。毎月、体重測定を行い主治医へ報告し指示を受けている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、声掛けを行い入居者の方の状態支援をおこなっている。義歯消毒は就寝前に行っている。希望に応じて、訪問歯科受診の手配を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し気持ち良くトイレで排泄出来る様に案内している。意思表示が難しい方でも表情や行動から声掛けや案内を行っている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の体操や朝食にヨーグルトや牛乳、植物繊維の多い食材を提供している。また、散歩を取り入れて体を動かしたり、排泄時に腹部マッサージを行ったり、しっかり水分摂取を案内することで解消や予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回の入浴を基本としている。ご本人の希望も伺いながら、体調や様子、表情等から、ご本人のタイミングに合わせて入浴の案内を行っている。個浴にて対応している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中、体操、散歩、リハビリ等出来るだけ活動して頂き、午後よりは就寝に向け精神的に安定するように穏やかに過ごして頂く様、一人ひとりの状況や希望に沿って支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理表を作成し、服薬内容について把握している。変更になった場合はその都度申し送りにて周知と把握に努め情報共有している。薬剤に関し疑問点あれば薬剤師へ質問し理解に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者の方の生活歴や趣味を把握し調理・洗濯物たたみ・裁縫・ゴミ箱作りなど一緒に行っている。また、デイ・サービスと合同で音楽療法やアコーディオン演奏に参加し、歌や踊りをするなどの楽しみ事の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日々の散歩や外気浴をできるだけ取り入れるようにしている。買い物や近所の公園に弁当持参での花見、外食を行っている。事業所内で店を開き「買い物レクリエーション」を行っている。		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自己管理できる方やお金があるという安心感の為にご家族の協力のもと、ご自分でお金を所持されている方もおられる。それぞれの方の状況に応じて対応している。可能な場合は利用者と一緒に買い物の支援をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族より電話があった際は取り次ぎ、ゆっくり話して頂くよう支援している。また、ご本人からご家族への電話の依頼があった場合対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間は、窓から外の木々や花壇が眺める事ができ、明るさや温度、湿度、換気に配慮し、ソファで日向ぼっこが出来る様に配置を工夫している。壁には利用者が作成した季節の飾りつけをして居心地良く過ごせるようにしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食事・お茶を摂る際は、席を決めている。テレビやソファを設置し楽しく過ごす空間を作り、職員も中に入り会話を取り持っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目 3階	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人やご家族と相談しながら、使い慣れた家具や時計、観葉植物、写真など持ち込んでいただくことで、居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>入居者一人ひとりの身体能力に合わせ、居室にネームプレートを付けたり、歩行不安定な方には安全に歩けるように家具の配置を工夫して導線を作ったりし安全に移動が出来る様に努めている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない